

信州小諸 坂の町通信

07夏~秋号

SHINSYU KOMORO TABI LIFE 2007.6.20

素朴な詩情あふれる城下町を・歩いてみませんか？

Everyone will be welcome in Komoro

【手づくり旅情報】

P3 サークル・グループ向け、旅のサポートサービス開始！

P4 旅クラブ（イベント）参加者募集！

巻頭エッセイ

北国街道・本陣問屋場



小諸城下町・四季の見どころ

●旅くらぶ (→P4)

夏 summer

7月14日(土) 夕方～

市民祭 (相生町、他)

小諸の各地区や企業の神輿がたくさん出てたいへんにぎやかです

7月15日(日) 正午～

健速神社 祇園祭 (本町) →p2

8月22日(水) 9時30分～正午

藤村忌 (懐古園・藤村記念館前)

毎年、藤村の命日にファンが集い、講座、詩の朗詠、合唱などを楽しむ

秋 autumn

9月2日(日)

八幡神社 八朔相撲 (荒町) →p2

9月8日(土)・9日(日)

戦国サイクリング (小諸観光協会)

甲府・武田神社～小諸～長野・川中島

●9月16日(日) 旅くらぶ

「北国街道の旧家と
虚子の散歩道の秋をめぐる」
俳句の町で一句いかがですか？

10月7日(日)

ふ～どまつり

町のあちこちで小諸の食を紹介する
屋台等が出ます！

●10月下旬予定 旅くらぶ

「荒町・お寺さんめぐり」
歴史を語るお宝を特別公開。

11月中～下旬 懐古園のもみじ

懐古神社、藤村記念館周辺がみごと

●11月23日(祝日)

町並みミュージアム (忍者ラリー)

町の子ども、親子が500人くらい参加
する大イベント。大人も楽しい！

冬 winter～春 spring

●2月末～3月4日 旅くらぶ

「本町・お人形さんめぐりと
旧家を拝見」(本町)

城下町の旧家に飾ったおひな様めぐりと、特別に旧家の中を拝見します。

懐古園内の藤村記念館



明治三十二年、開通したばかりの信越線で小諸駅に降り立った二十七八歳の物静かな青年。彼は小諸の自然風土に惹かれ、ここで教員生活を送った六年間で、日本の自然主義文学の誕生を告げる詩や小説を生み出していました。藤村は、そのための取材として、小諸



しまざき とうそん 島崎藤村が案内する 夏の小諸

小諸時代の藤村像
小山修次画
藤村記念館所蔵

高原の城下町の夏は、青空に雲がわき、山麓を渡る風が木陰を吹き抜けていきます。そんな詩情を、小諸を世に知らしめた明治の文豪・島崎藤村の文章でご案内します。

本町の町並み



の四季を書き留め、のちに「千曲川のスケッチ」として発表しました。

●町並み案内
「小諸はこの傾斜に添うて、北国街道の両側に細長く発達した町だ。本町、荒町は光岳寺を境にして左右に曲折した、主なる商家のあるところだが、その両側に市町、与良町が続いている。私は本町の裏手から停車場とともに開けた相生町の道路を横ぎり、古い土族屋敷の残った袋町を通りぬ

けて、田圃側の細道に出た。そこまで行くと、荒町、与良町と続いた家々の屋根が町の全景の一部を望むように見られる。白壁、土壁は青葉に埋もれていた。」

●懐古園(小諸城址)
「私はこの古城址に遊んで、君なぞの思いもよらないような風景を望んだ。それは茂った青葉のかげから、遠く白い山々を望む美しさだ。日本アルプスの谿谷の雪は、ここから白壁を望むように見える。」

懐古園の藤、木蘭、躑躅、牡丹などは一時花と花が映り合って盛んな香氣を発したが、今では最早濃い新緑の香に変わっていった。千曲川は天台の上まで登らなければ

見られない。谷の深さは、それだけでも想像されよう。

海のような浅間一帯の大傾斜は、その黒ずんだ松の樹の下へ行つて、一線に六月の空に横たわる光景が見られる。既に君に話した烏帽子山麓の牧場、B君の住む根津村などは見えないまでも、そこから松林の向こうに指すことが出来る。私達の矢場を捲う檜、楓の緑も、その高い石垣の上から目の下に瞰下すことが出来る。」

引用／「千曲川のスケッチ」
島崎藤村・新潮文庫